

Commercial Facility





## 多世代が座りやすく自然と会話が弾む、 “サロンファニチャー”のある空間

総曲輪レガートスクエアの「レガート」とはイタリア語で「結びつき」を意味します。その施設のコンセプトに沿うように、人と人とを自然につなぐ“サロンファニチャー”<sup>\*</sup>を設置するなど、利用者の交流を意識したデザイン空間をご提案しました。造作家具は、家具の配置を変えることで様々な用途に対応するテーブルセット[1]や、植栽と一体化したファニチャーなど、スペースのテーマに沿って設計されており、モルタルレジンや人工木材など、素材にも工夫を凝らしました。また、本案件では施設やパーキング内のサインも手掛け、富山の名産をシンボリックにデザインしています。[2][3]。

<sup>\*</sup>サロンファニチャーとは、様々な人が集い、自然にコミュニケーションをし、座り方や目線の違いによって心地良い距離感が生まれる一そんな、置くだけで空間のシンボルとなる家具のこと。

物件名：総曲輪レガートスクエア

依頼主：大和リース株式会社 様

所在地：富山県富山市

完 成：2017年3月

担当者：ファシリティ事業部 事業推進課  
工藤早人

ファシリティ事業部 スペースソリューション営業所  
当麻光祐

〈サイン〉

ファシリティ事業部 事業推進課  
西島輝／平石年

 造作家具

 サイン

<sup>\*</sup> 担当者の所属については2017年3月31日時点のものです。一部、部署・役職等を省略しています。



1



2



3